

散歩 少女と廃トンネル

今日は集落の外れにある岬を貫くトンネル近くまで歩いてきた



道路を渡り更に海側へと向かうと古いトンネルがあるのそこを探検しようと思ったのだが…

残念なことに鉄板と金網で封鎖されていた

まあここまでは想定内
簡単に入れたら楽だけど
逆に見つかりやすくして
危ないし…



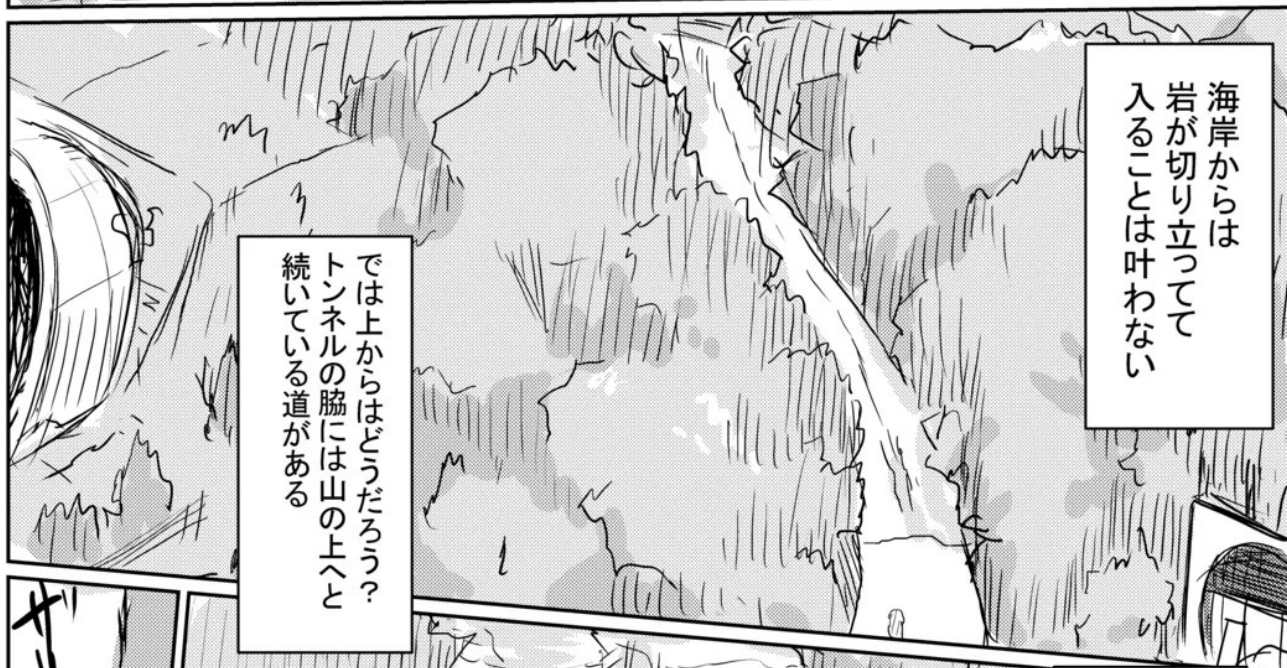
つまり中に入れたら
安全度は高い…これは
是非とも入らないと

地元民の私には
侵入ルートの
当てがあるのだ



海岸からは
岩が切り立ってて
入ることは叶わない

では上からはどうだろう？
トンネルの脇には山の上へと
続いている道がある



ちょっとした
ハイキングだ



山登り
してるみたいだ

トンネルの上は
畑だったんだけど

数年前に来たときは
結構広い畑だったけど
今では雑草が生い茂っていた

この畑の跡を
海沿いへと進むと…

海へと降りれる
斜面があった

下山中…

岩の間を下っていくと
トンネルの頭が見えた

無事到着だ

外側だけ
封鎖してあるんだね

流石に
上から来るのは
想定外なのかな

楽しもう！

お散歩開始！

何時かは
散歩したいなって
思ってたんだ

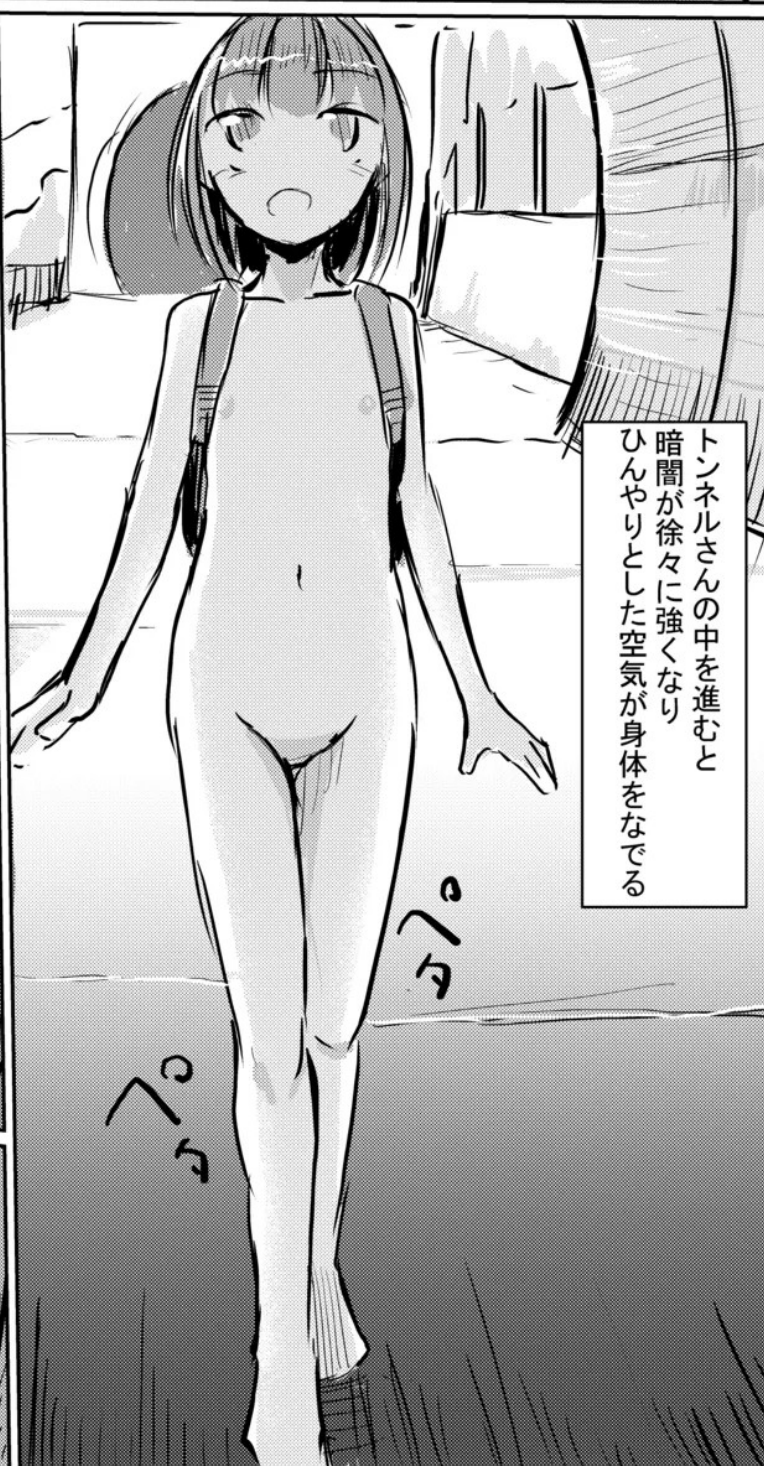
素肌で余すことなく
この世界を感じないとね



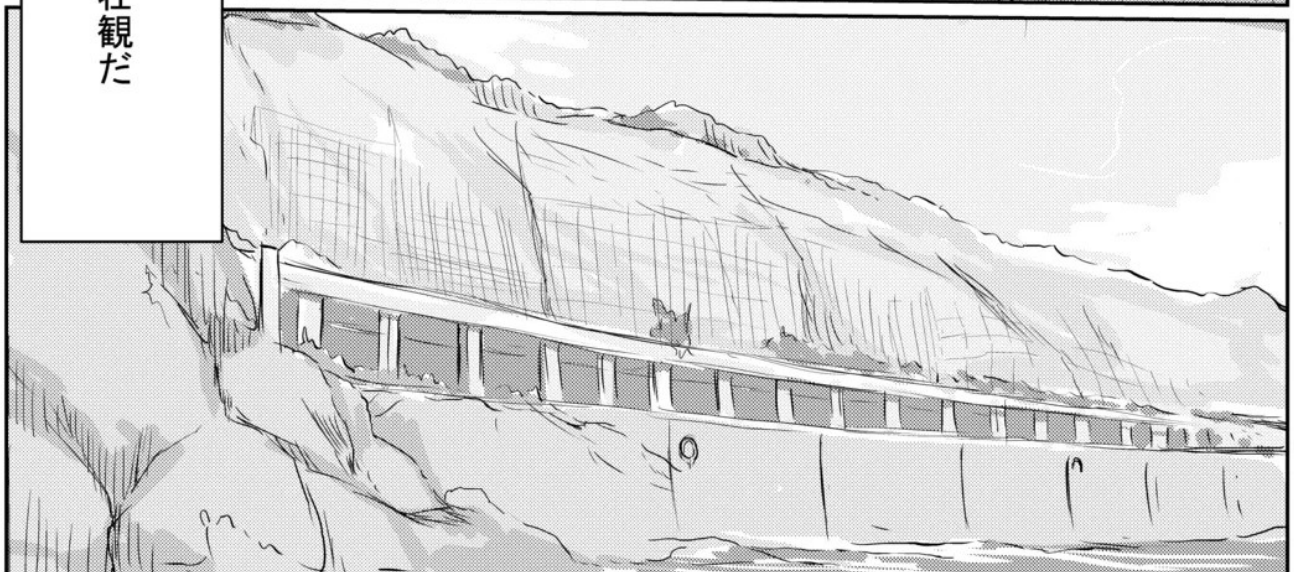
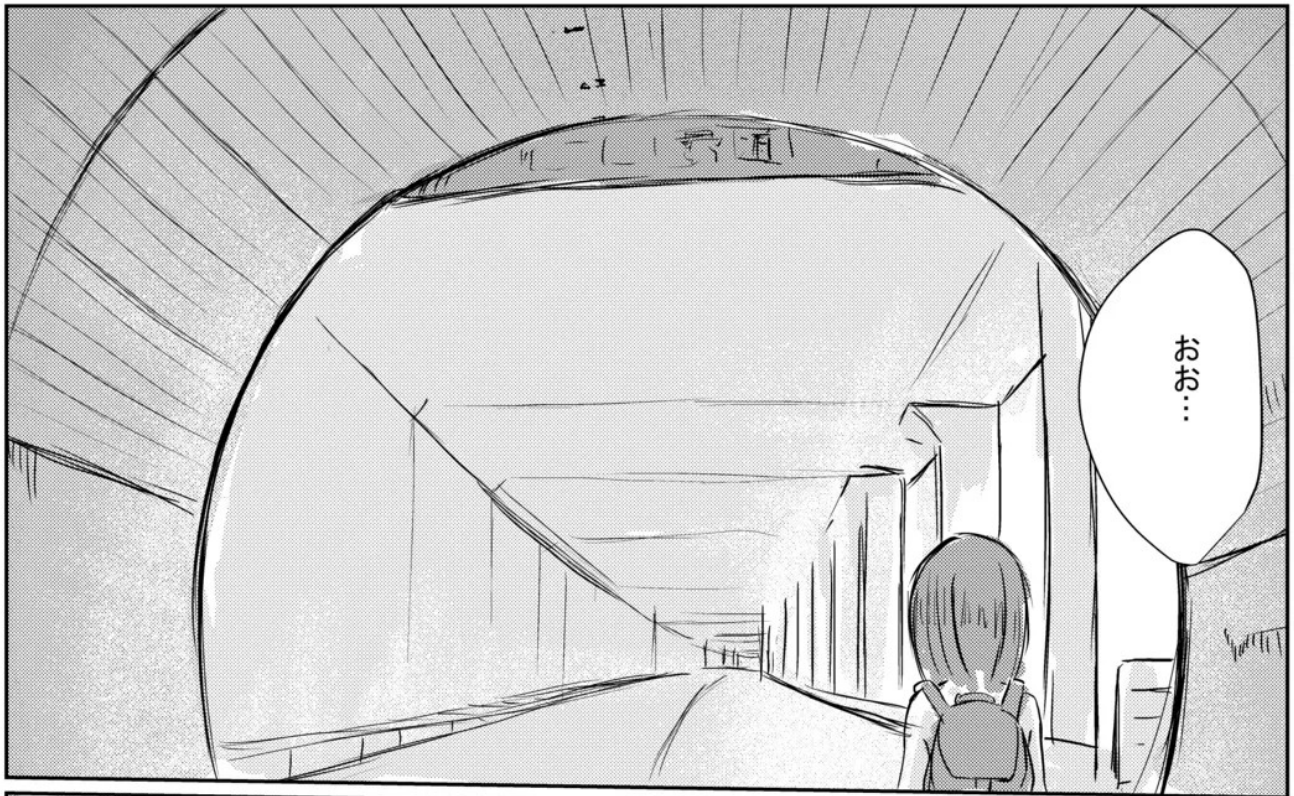


照明器具やケーブルも
全部取っちゃってるんだね

どんどん暗くなってきた
違う世界に続いてたりして…



トンネルさんの中を進むと
暗闇が徐々に強くなり
ひんやりとした空気が身体をなでる



暗闇の先には
薄灰色の回廊が
遥か先まで続いていた

綺麗だな…

丁度いい腰掛があつたので
波の音を聞きながら景色を
楽しむことにした

ん？

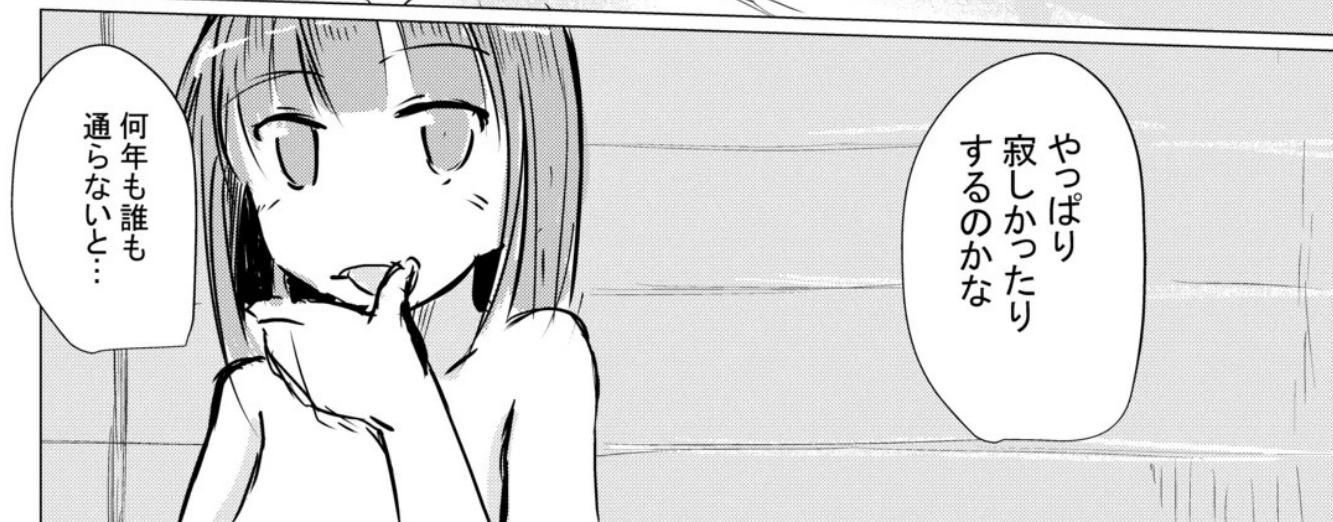
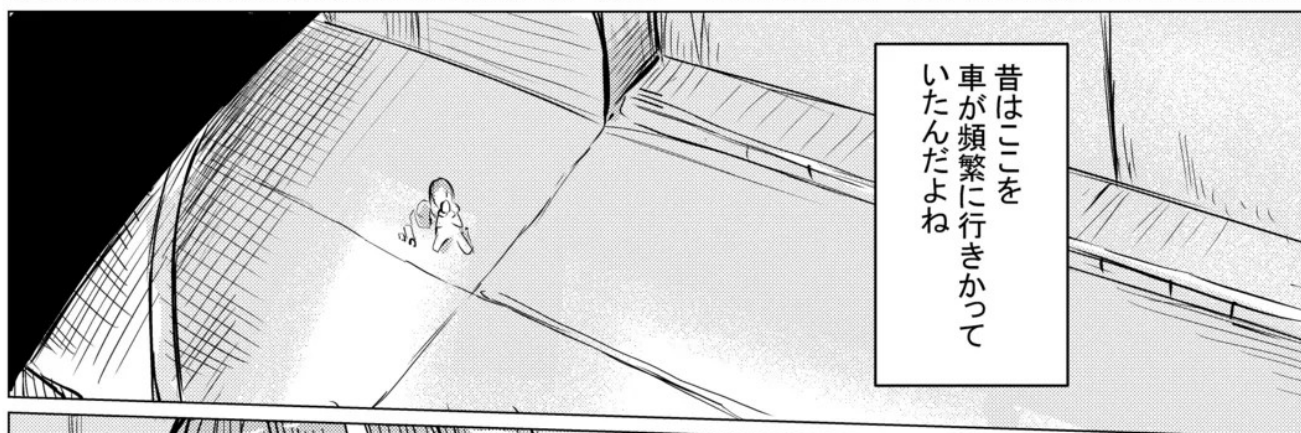


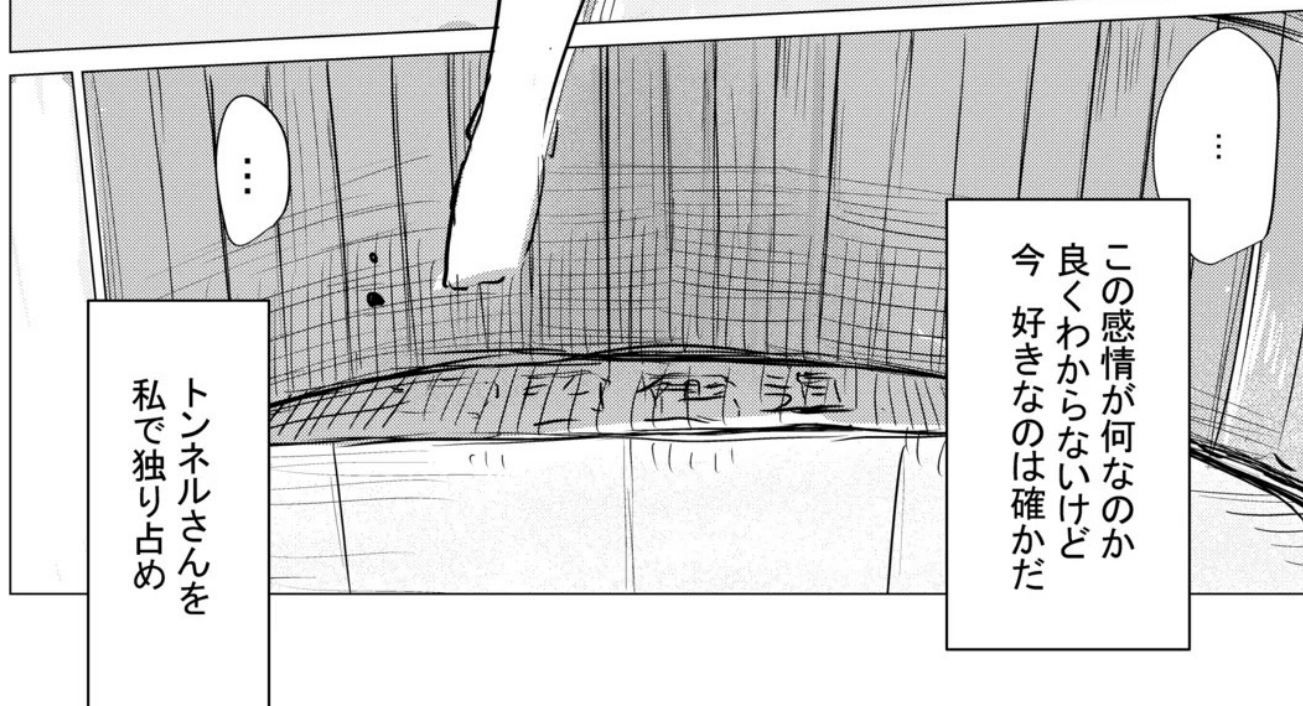
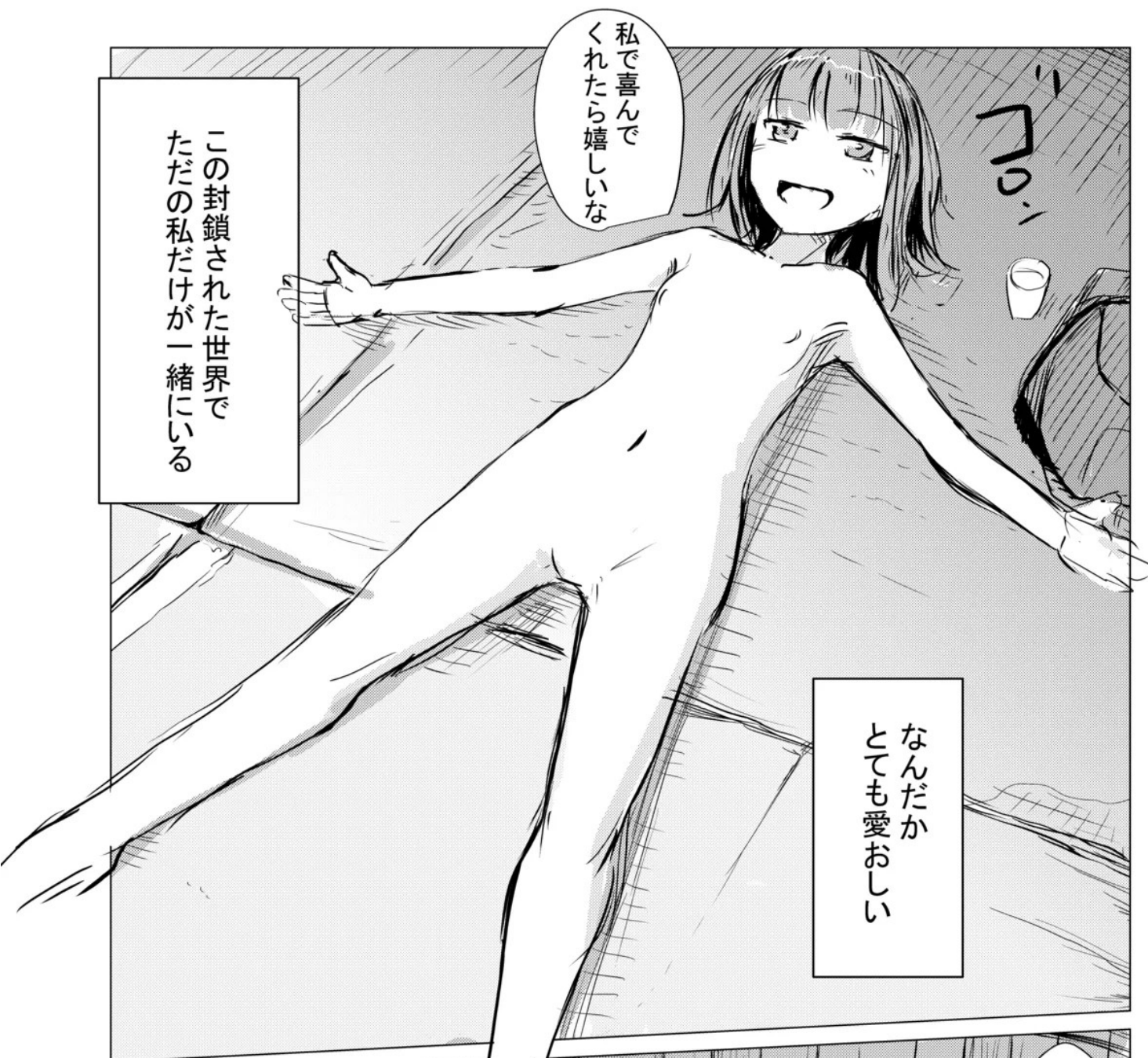
外ばかり見てないで
自分も見ろって？

トンネルさんも
素敵だよ

気のせいかな
トンネルさんが
喜んでる気がする

そっぴやオニギリ
作ってきたんだ





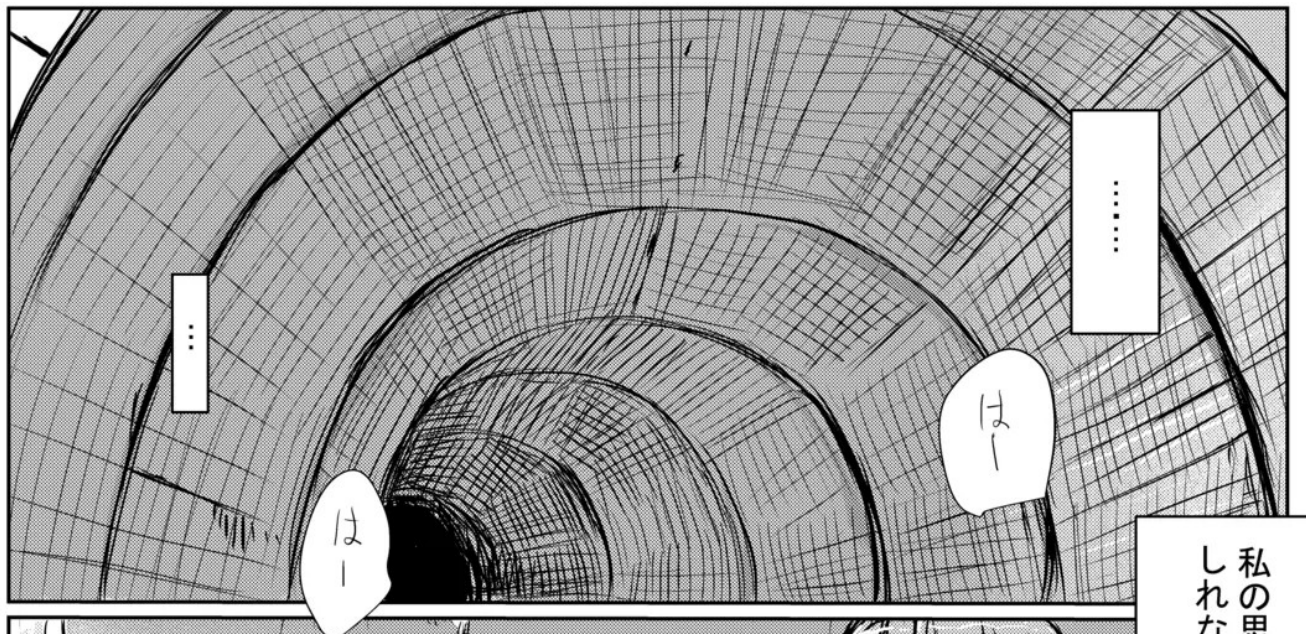


肉の私とコンクリの
貴方とでは叶わない
事だろうけど

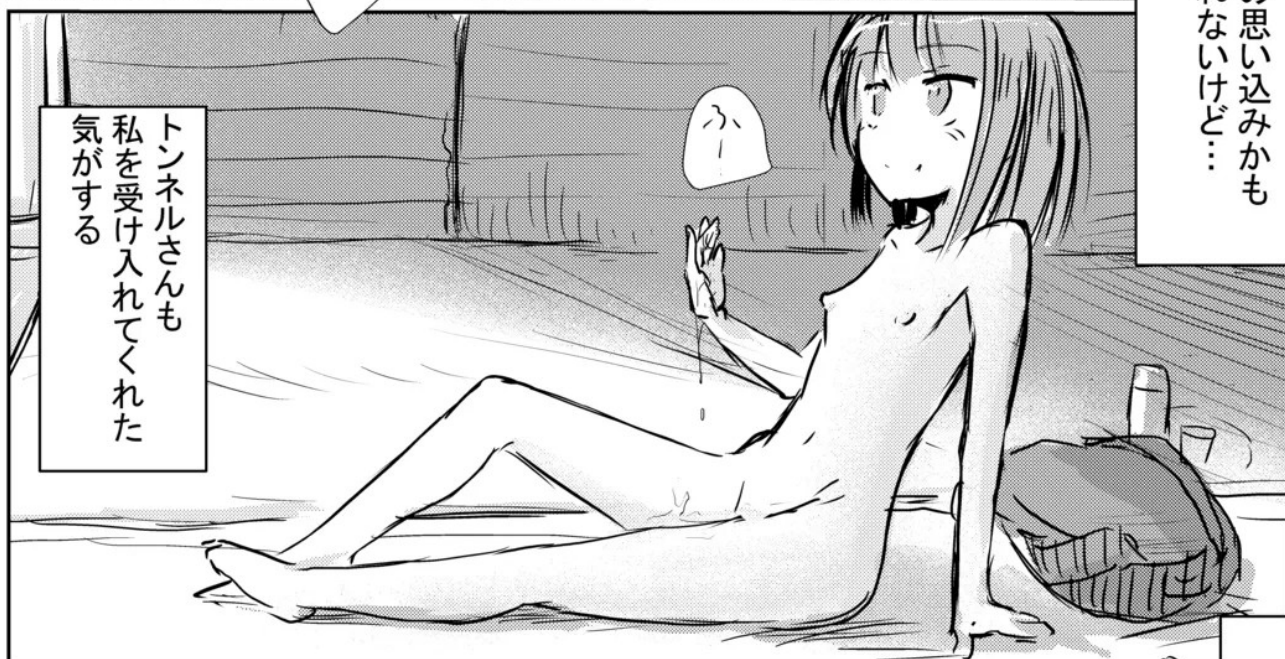
トンネルさんと
もっと寄り添ってみたい

それでも…

私の気持ち
を受け取ってほしい



私の思い込みかも
しれないけど...



トンネルさんも
私を受け入れてくれた
気がする

散歩の予定が
エッチしちゃった

